

関西大学大学院文学研究科副専攻「EU-日本学」 国際ワークショップ

## 第3回 EUワークショップ

日時：2011年11月4日（金）9：30～17：10

場所：ルーヴェン大学（ベルギー）

Justus Lipsiuszaal, the 8th Floor of Erasmushuis, Faculty of Arts

### 第1セッション 「日本の歴史と文化」

司会：芝井 敬司（関西大学文学部教授）

9：30～10：10 KUBOTA, Yoshiyuki

（MA Student, Kansai University Graduate School of Letters）

How People Enjoy *The Tale of Genji* in the Edo Period

10：15～10：55 Roselyne Francken （ルーヴェン大学日本学科修士課程前期課程）

ファンゴッホのジャポニスム；浮世絵がファンゴッホの作品に与えた影響

11：00～11：40 古西 遥奈 （関西大学大学院文学研究科博士課程前期課程）

現代に繋がる飛鳥時代 —高松塚古墳を中心に—

### 第2セッション 「現代日本事情」

司会：Dimitri Vanoverbeke（ルーヴェン大学日本学科教授）

13：00～13：40 Annelore D'haeseleer （ルーヴェン大学日本学科修士課程前期課程）

21世紀の日米安全保障条約 「小泉純一郎の影響」

13：45～14：25 Stefan De Pooter （ルーヴェン大学日本学科修士課程科目等履修生）

終末感と超愛国心の交差点で起きたオウム真理教サリン事件と海外の類例

### 第3セッション 「Jポップカルチャー」

司会：小川 博司（関西大学社会学部教授）

15：00～15：40 MUKAE, Shunsuke

（MA Student, Kansai University Graduate School of Letters）

J-Horror: Its Birth and Specific Theory

15：45～16：25 鍾 允順 （関西大学大学院社会学研究科博士課程前期課程）

動画共有サービスにおける参加 —動画共有サービス「ニコニコ動画」を事例として—

16：30～17：10 柴台 弘毅 （関西大学大学院社会学研究科博士課程後期課程）

音楽を媒介としたコミュニケーションの現在

～“会いに行けるアイドル” AKB48 を事例に～

The 3rd EU Workshop

Sub-Major Curriculum EU-Japanology, Kansai University Graduate School of Letters